

小学校第6学年社会科指導案

期 間 9月6日(火)～9月26日(火)
 対 象 紫波町立片寄小学校第6学年
 男6名、女5名 計11名
 指導者 今淵 哲哉

1 単元名 新しい時代の幕あけ(使用教科書会社 教育出版) 7時間扱い

2 目標

黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、欧米の制度や文化を取り入れながら諸改革を行っていき、産業が発展したことや、大日本帝国憲法制定などの近代化やその目的を理解することができるようにする。

3 教材観

本単元では、「新しい時代の幕あけ」の中で黒船の来航、明治維新、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、国会の開設などの歴史的な事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、わが国は廃藩置県や四民平等、富国強兵策などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れながら、近代化を進めたことが分かるようにすることをねらいとしている。

明治維新をめぐる社会の動きは、非常に複雑で理解しづらいものであると思われる。それは、取り上げるべき歴史的な事象や、取り上げるべき歴史上の人物が多く、それらの歴史的な事象や歴史上の人物がそれぞれ複雑に関連し合っているため、児童が調べていく際に煩雑になりやすいと思われるからである。また、資料にでてくる語句の意味も理解しがたいものも多く、内容の理解も難しい単元であると思われる。

4 児童観

児童は、概ね歴史学習に興味をもち、授業以外でも歴史に関する資料を見たり、歴史上の人物の伝記等の図書資料を読んだりしている。授業においても、歴史的な事象の生じた要因や社会に与えた影響に興味をもち、教科書や資料集の資料から、重要な部分も見つかったり、与えられた資料から、課題解決を図ろうとする態度は十分身に付いている。

しかしながら、資料からなにを見つけてよいか分からなかったり、語句の意味が分からないまま学習を進めてしまったりして、歴史的な事象の事実を押さえられず、複数の資料を見比べることが難しく、歴史的な事象や歴史上の人物との関連を見いだしにくくなっていることが多い。そのため、歴史的な事象の生じた要因や社会に与えた影響を類推しにくくなることも見られる。

5 指導観

本単元では、まず、各単位時間において時代背景をとらえさせた上で、基本となる歴史的な事象を取り上げ、それが生じた理由や社会に与えた影響について類推できるように構成したいと考える。

そのために、まず歴史的な事象の事実を正確にとらえさせた上で、複数の資料より歴史的な事象や歴史上の人物との関連を見いださせるようにさせていきたい。また、為政者の立場からだけではなく、民衆の立場との関連も見いださせるようにさせたい。そして、根拠をもって歴史的な事象の生じた要因や、社会に対する影響について類推することができるようにさせていきたいと考える。

6 単元の評価規準

評 価 規 準			
社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能表現	社会的な事象についての知識・理解
黒船の来航を契機に長く続いた武士の時代の支配が終わり、近代的な新しい国家をつくらうとする動きがでてきたことに興味をもち、その経過について意欲的に調べようとする。	明治政府が近代的国家としてのしくみを整えていった様子を、前の時代からの変化や外国との関係から考えることができる。	年表や地図などの資料を活用して、明治政府の政策や対外関係を、国際的背景を考えながら調べることができる。	明治政府が諸改革を行って近代的な国家づくりをめざしたこと、その後、国力を充実させて国際的地位を高めたことを、外国との関係の変化をふまえて理解することができる。

7 単元指導計画

時 数	学 習 内 容
1	江戸幕府がペリーの来航によって鎖国をやめるに至った経緯と開国が世の中に与えた影響について考える
2	江戸幕府をとりまく、世の中の動きを調べ、江戸幕府が倒れるまでの過程とその要因について考える
3	明治政府がとった政策について調べ、それが大名や武士および民衆に与えた影響について考える
4	明治政府が西洋に負けない国づくりのために行った富国強兵策について調べ、その政策の目的について考える
5	江戸時代と比較しながら、人々の暮らしがどのように変化したが、また、文明開化が今の時代に与えた影響について考える
6, 7	自由民権運動の起こりから憲法制定までの経過をつかみ、人々が期待していた政治、明治政府がめざした国づくりがどのように達成されたか考える

8 展開

1 / 7 時間 (全 7 時間)

学習内容 江戸幕府がペリー来航によって鎖国をやめるに至った経緯と開国が世の中に与えた影響について考える。

具体的評価基準

- ・ 頑なに鎖国政策を行ってきた江戸幕府が鎖国を解き開国するに至った経緯について、関心をもって調べようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- A 鎖国政策を行ってきた江戸幕府が鎖国を解くには大きな要因があることが分かり、意欲的に調べようとする。
- B 鎖国政策を行ってきた江戸幕府が鎖国を解き開国するに至った経緯について関心をもって意欲的に調べようとする。
- C への支援 鎖国政策が行われていた理由を示し、開国の決断が大きなものであることを知らせる。
- ・ 江戸幕府が開国した理由と開国による影響をペリー来航という歴史的事象に結び付けて考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- A 江戸幕府が開国した理由と社会に与えた影響について、時代背景をとらえながら、幕府の苦悩やペリーのもたらしたものを結び付けて考えることができる。
- B 江戸幕府が開国した理由と社会に与えた影響について、幕府の苦悩やペリーのもたらしたものなどから考えることができる。
- C への支援 資料から読みとれることを指摘させる。

	学習内容・活動	指導上の留意点	コンピュータ教材・資料
導	1 はじめの資料を見て、学習する 中心的事象について知る 基本となる歴史的事象 江戸幕府は、これまで行っていた鎖国をやめ、外国に対し開国することにした	・ これまでの時代の流れについて確認する(特に鎖国政策については理由も確認する) ・ ワークシートを配布する	プロジェクター・一斉指導 ・ 鎖国政策 ・ 年表
入	2 学習課題を知る 江戸幕府がなぜ開国をし、世の中にどのような影響を与えたのか考えよう		・ 学習課題の提示
展	3 課題を追究する ・ 課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ ワークシートに資料からとらえたこと、見いだしたこと、類推したことを記入しながら進める ・ ペリー来航について調べる ・ ペリーが来航した理由について調べる ・ 幕府の苦悩と決断の理由について調べる	・ 教材の操作方法について確認する ・ ワークシートへの記入の仕方について確認する つかむ段階 ・ 開国のきっかけとしてペリーの来航があったことをとらえさせる つなげる段階 ・ ペリーの来航と人々の思いについて関連を見いださせる ・ ペリーの考えと幕府の苦悩と行動の関連を見いださせる さぐる段階 ・ 開国してどのような影響が表れたのか、根拠をもって類推させる ・ ワークシートに記入させた後、一斉指導により確認する ・ ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる ・ 幕府の苦悩、開国による影響について話し合わせる ・ 条約については、個別学習では内容が難しいため、教師側から問題点を説明する	コンピュータ教材・個別 ・ ペリー来航説明 港を防御する武士 【補充資料 p 13】 ・ これまでの外国船の来航図 ・ 黒船の様子【補充資料 p 13】 ・ ペリーの考え、来航の目的、ペリーの航路、ペリーの行動、幕府(阿部政弘)の苦悩、幕府の行動、武力の違い 【補充資料 p 13】 ・ 条約締結、日米和親条約 ペリーの献上品、開港地 日米修好通商条約 ・ 発展的に調べたい児童に対して、他の web ページを教材に準備する
開	4 調べたことをもとに学び合う		
30			
終	5 学習のまとめをする ・ 学習課題に対する考えを書く	・ 自分で調べたことや学び合いで得たことから学習課題の解決を図らせる	プロジェクター・一斉指導 学習のポイントを表示する
末	6 感想を記入する		
7			

2 / 7 時間 (全 7 時間)

学習内容 江戸幕府をとりまく、世の中の動きを調べ、江戸幕府が倒れるまでの過程とその要因について考える。

具体の評価基準

- ・江戸幕府が倒れた要因を暮らしの変化や討幕運動の高まりと結び付けて考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- A 江戸幕府が倒れた要因を開国による暮らしの変化により起こる人々の不満、討幕運動に関わった人々の考えを結び付けて考えることができる。
- B 江戸幕府が倒れた要因を、暮らしの変化や討幕運動の高まりと結び付けて考えることができる。
- C への支援 江戸幕府が倒れた要因を教材から読みとれるように支援する。
- ・江戸幕府が倒れた要因について時代背景をとらえながら調べることができる。
(観察資料活用の技能・表現)
- A 江戸幕府が倒れた要因について、これまでの時代背景を押さえた上で変化をとらえながら各種の資料から調べまとめることができる。
- B 江戸幕府が倒れた要因について、時代背景をとらえながら各種の資料を調べることができる。
- C への支援 資料から分かることを一つずつ見つけださせる。

	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	コンピュータ教材・資料
導 入 8	1 はじめの資料を見て、学習する 中心的な歴史的対象について知る 基本となる歴史的対象 15 代将軍徳川慶喜が政治の権利を朝廷に返し、江戸幕府は倒れた	・これまでの時代の流れについて確認する(開国によっておきた影響および、江戸時代の流れについて確認する) ・ワークシートを配布する	プロジェクター・一言指導 ・大政奉還図 ・年表 ・2つの条約
	2 学習課題を知る 江戸幕府はなぜ政治の権利を返したのだろうか		・学習課題の提示
展 開 30	3 課題を追究する ・課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ワークシートに資料からとらえたこと、見いだしたこと、類推したことを記入しながら進める ・貿易の始まりと弊害について調べる ・幕府の力の弱まりについて調べる ・外国の力との結び付きについて調べる ・討幕運動と中心的人物について調べる ・幕府の倒れた理由について調べる	・教材の操作方法について確認する ・ワークシートへの記入の仕方について確認する つかむ段階 ・開国をして貿易が始まったことによって人々の生活が苦しくなったことをとらえさせる つなげる段階 ・幕末期における幕府の力の弱まりと、外国勢力と結び付き力のもつ藩の台頭の関連を見いださせる さぐる段階 ・なぜ、幕府が政権を返すに至ったのかを民衆の不満、討幕運動、外国勢力の台頭から類推させる ・ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる ・児童がとらえられなかった部分について補足説明を行う	コンピュータ教材・図解 ・外国人による買い入れの図、米と生糸の値段の推移のグラフ【補充資料 14】 ・阿部政弘の行動、徳川家光の考え、外国のねらいイギリスとの結び付き【補充資料 14】 ・薩英戦争、下関戦争 ・討幕運動に関わった中心的人物、坂本龍馬、大久保利通、西郷隆盛木戸孝允の考え【補充資料 14】 ・討幕運動に関わった中心人物の出身地図 ・発展的に調べたい児童に対して、他の web ページを教材に準備する
	4 調べたことをもとに学び合う		
終 末 7	5 学習課題を解決する ・学習課題に対する考えを書く 6 感想を記入する	・自分で調べたことや学び合いで得たことから学習課題の解決を図らせる	プロジェクター・一言指導 学習のポイントを表示する

3 / 7 時間 (全 7 時間)

学習内容 明治政府がとった政策について調べ、それが大名や武士および民衆に与えた影響について考える。

具体の評価基準

- ・明治政府がどのような人々によって組織され、新しい社会をつくるために、どのような改革を行ったかに興味をもつ。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- A 明治政府が、新しい社会をつくるために行った改革について、前の時代からどのように変化したかに興味をもつ。
- B 明治政府が、新しい社会をつくるために行った改革について関心をもつ。
- C への支援 明治政府が、新しい社会をつくるために行った改革を前の時代からどのように変化したか視点を与える。
- ・明治政府が行った改革によって、社会に与えた影響について考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- A 明治政府が行った改革によって、武士や農民・町人に与えた影響についてそれぞれの思いを考えることができる。
- B 明治政府が行った改革によって、武士や農民・町人に与えた影響について考えることができる。
- C への支援 明治政府が行った改革を、前の時代からの変化を考えさせる。

	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	コンピュータ教材・資料
導 入 8	1 はじめの資料を見て、学習する 中心の歴史的な事象について知る 基本となる歴史的な事象 江戸幕府に代わり明治政府がつくられた。明治政府は国づくりのために社会の改革をはじめた	・これまでの時代の流れについて確認する(開国によっておきた影響について確認するとともに討幕運動に関わった人たちについて確認する) ・ワークシートを配布する	プロジェクター・一斉指導 ・大政奉還図 ・年表
8	2 学習課題を知る 新しい政府は、どのような国づくりをして、社会にどのような影響を与えたのだろうか		・学習課題の提示
展 開 30	3 課題を追究する ・課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ワークシートに資料からとらえたこと、考えたことを記入しながら進める ・改革を進めた人物について調べる ・明治政府が示した政治の方針について調べる ・廃藩置県について調べる ・四民平等政策について調べる ・解放令について調べる 政府の国づくりについて調べる	・教材の操作方法について確認する ・ワークシートへの記入の仕方について確認する つかむ段階 ・新しい時代に入り、討幕運動に関わった人々によって改革が進められたことをとらえさせる ・五箇条のご誓文の内容についてとらえさせる つなげる段階 ・明治政府が行った政策と、そのことによる大名、武士、農民、町人、差別階級の人たちの思いについて関連を見いださせる さぐる段階 ・明治政府は、なぜ、これらの改革をしていったのかを類推させる ・新しい政府が行った政策により社会に与えた影響を類推させる ・ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる ・与えた影響、思いを中心に発表し、学び合う ・児童がとらえられなかった部分について補足説明を加える	コンピュータ教材・個別 ・改革を進めた人々、討幕運動を進めた人々の出身地【補充資料 p 15】 ・五箇条のご誓文内容、江戸時代の様子【補充資料 p 15】 ・廃藩置県説明、東北地方の廃藩置県地図 ・四民平等説明、江戸時代の身分制度、四民平等内容、武士の身分、解放令説明、差別されてきた人の身分・職業【補充資料 p 15】
終 末 7	5 学習課題を解決する ・学習課題に対する考えを書く 6 感想を記入する	・自分で調べたことや学び合いで得たことから学習課題の解決を図らせる	プロジェクター・一斉指導 学習のポイントを表示する

4 / 7 時間 (全 7 時間)

学習内容 明治政府が西洋に負けない国づくりのために行った富国強兵策について調べ、その政策の目的について考える。

具体の評価規準

- ・明治政府が、富国強兵策を行った理由について西洋諸国との社会の仕組みとの違いから考えることができる。
 (社会的な思考・判断)
 A 富国強兵策を行った理由についてこれまでの時代との違いを比較するとともに、西洋諸国との社会の仕組みの違いから考えることができる。
 B 富国強兵策を行ってきた理由について西洋諸国との社会の仕組みの違いから考えることができる。
 C への支援 富国強兵策を行ってきた理由について、岩倉使節団が西洋諸国を巡って見たものや、これまでの時代背景から考えさせる。
- ・明治政府が、富国強兵のために行った政策は西洋諸国に追いつこうとするために行われたことを理解する。
 (社会的事象についての知識・理解)
 A 富国強兵策が行った内容とそれぞれの政策の特徴をとらえる。
 B 富国強兵策が行われた理由とその内容について理解する。
 C への支援 前の時代との変化に着目させ、どのような国になっていったのかとらえさせる。

	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	コンピュータ教材・資料
導 入 8	1 はじめの資料を見て、学習する 中心的历史的事象について知る 基本となる歴史的事象 明治政府は、日本が西洋に比べ おけている事実を直そうと考 える 2 学習課題を知る 明治政府は、何のために様々な改革を行っていったのか考えよう	・これまでの時代の流れについて確認する(日本が欧米諸国に比べて国力が弱く文明がおくれていたこと、不平等条約を結ばされたことを想起させる) ・ワークシートを配布する	プロジェクト：一斉指導 ・ペリーの献上品 ・ペリー艦隊の図
展 開 30	3 課題を追究する ・課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ワークシートに資料からとらえたこと、見いだしたこと、類推したことを記入しながら進める ・岩倉使節団の海外視察について確認する ・富国強兵策について調べる 殖産興業について 徴兵令について 地租改正について 4 調べたことをもとに学び合う	・教材の操作方法について確認する ・ワークシートへの記入の仕方について確認する ・ワークシートに記入させた後、一斉指導により確認する つかむ段階 ・岩倉使節団が、欧米諸国で見たり聞いたりしたことをとらえる つなげる段階 ・政府が行った殖産興業、徴兵令、地租改正をそれぞれ前の時代との様子との関連を見いださせる さぐる段階 ・政府が何のために改革を行っていったのか類推する ・ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる。 ・児童がとらえられなかった部分について補足説明を加える	・学習課題の提示 コンピュータ教材：個別 ・岩倉使節団世界一周の旅 岩倉使節団の見たもの 【補充資料 p 16】 ・富岡製糸工場、幕末期の生糸の生産、各地の官営工場、徴兵令説明、武士による軍隊、地租改正説明、地租の具体的イメージ、これまでの税の仕組み【補充資料 p 16】 ・発展的に調べたい児童に対して、他の web ページを教材に準備する
終 末 7	5 学習課題を解決する ・学習課題に対する考えを書く 6 感想を記入する	・自分で調べたことや学び合いで得たことから学習課題の解決を図らせる	プロジェクト：一斉指導 学習内容のポイントを表示する

5 / 7 (全7時間)

学習内容 江戸時代と比較しながら、人々の暮らしがどのように変化したか、また、文明開化が今の時代に与えた影響について考える。

具体の評価基準

- ・明治時代になって起こった暮らしの変化に興味をもち、今の時代との結び付きを考えながら調べようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- A 明治時代に起こった暮らしの変化の理由がどこにあるか、今の時代にどのように結び付いているかを考えながら調べることができる。
- B 明治時代に起こった暮らしの変化に興味をもち、今の時代とどのように結び付いているかを考えながら調べようとする。
- C への支援 江戸時代の暮らしと明治時代の暮らしと今の時代の暮らしを資料で比較させ興味をもたせる。
- ・明治時代になって起こった暮らしの変化を生起した理由を結び付けて考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- A 明治時代になって起こった暮らしの変化を生起した理由と結び付けるとともに、今の時代へのつながりを考えることができる。
- B 明治時代になって起こった暮らしの変化を今の時代とのつながりから考えることができる。
- C への支援 明治時代になって起こった暮らしの変化を教材資料に注目させ江戸時代との違いに気づかせる。

	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	コンピュータ教材・資料
導	1 はじめの資料を見て、学習する 中心となる歴史的な事象について知る 基本となる歴史的な事象 明治時代になると、都市を中心に暮らしの様子が変わってきた	・これまでの時代の流れについて確認する(開国した影響、政府が行ってきた富国強兵政策について確認する) ・ワークシートを配布する	プロジェクター・一斉指導 ・文明開化期の横浜の様子
8	2 学習課題を知る 江戸時代に比べ、人々の暮らしはどのように変わっていったのか考えよう		・学習課題の提示
展 開 30	3 課題を追究する ・課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ワークシートに資料からとらえたこと、見いだしたこと、類推したことを記入しながら進める ・文明開化時と開国時の人々の暮らし方の違いについて調べる ・人々の暮らしの変化について調べる ・町の変化の様子について調べる ・子どもたちの暮らしの変化について調べる 4 調べたことをもとに学び合う	・教材の操作方法について確認する ・ワークシートへの記入の仕方について確認する ・ワークシートに記入させた後、個別学習により資料からとらえたことを確認する ・個別学習により、江戸時代からの変化と今の時代へのつながりと、変化の要因を考えさせる <u>つかむ段階</u> ・開国後数年で都市部におきた生活の変化について衣食住、交通、街の様子を中心にとらえさせる <u>つなげる段階</u> ・文明開化によっておきた生活の変化と今の時代との関連を見いださせる ・福沢諭吉の考えと学制の発布、今の時代との違いとの関連を見いださせる <u>さぐる段階</u> ・文明開化がどのようにしておきたかを類推させる ・ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる ・文明開化や学制の発布の生じた要因や今の時代へのつながりについて学び合わせる	コンピュータ教材・個別 ・横浜海岸各国商館図、新神奈川開港図、服装・日用品、交通・通信の変化【補充資料p 17】 ・人々の暮らし、新しい食べ物、町の中の様子、他の暮らしがかわる変化 ・学制の発布、今の学校との違い、入学者の割合 ・学問のすすめ、福沢諭吉に関する年表【補充資料p 17】 ・発展的に調べたい児童に対して、他の web ページを教材に準備する
終 末 7	5 学習課題を解決する ・学習課題に対する考えを書く 6 感想を記入する	・自分で調べたことや学び合いで得たことから学習課題の解決を図らせる	プロジェクター・一斉指導 学習内容のポイント表示する

6.7 / 7 (全7時間)

学習内容 自由民権運動の起こりから憲法制定までの経過をつかみ、人々が期待していた政治、明治政府がめざした国づくりがどのように達成されたか考える。

具体の評価基準

- ・明治政府が国会を開き、憲法を制定するに至った経緯には人々の願いの結集である自由民権運動があることを考えることができる。(社会的な思考・判断)
 - A 明治政府が国会を開かなければならなかった背景について、民衆の願いの結集である自由民権運動があることを考えることができる。
 - B 明治政府が国会を開かなければならなかった理由について、自由民権運動が関わっていたことを考えることができる。
 - Cへの支援 教材資料により、民衆がどのような不満をもっていたか、どのように政府に働きかけたかという点について着目させる。
- ・明治政府が国会を開くために作成した憲法、選挙制度について理解するとともに、時代背景にどのような事実があるかを理解する。(社会的事象についての知識・理解)
 - A 明治政府が作成した憲法、選挙制度について特徴を具体的にとらえるとともに、時代背景となった自由民権運動の起こりの背景をとらえることができる。
 - B 明治政府が作成した憲法、選挙制度について特徴をとらえるとともに、時代背景として自由民権運動があったことをとらえることができる。
 - Cへの支援 教材資料によりどのような特徴があるかを資料を比較させ相違点を見つけださせる。

	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	コンピュータ教材・資料
導 入 8	1 はじめの資料を見て、学習する 中心的な歴史的事象について知る 基本となる歴史的事象 明治政府は、国会を開き、国民の意見を聞いて、政治をすることを約束した	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの時代の流れについて確認する(明治政府が行ったきた政策、中心となった人物や人物の出身地などについて中心に行う) ・ワークシートを配布する 	<p>プロジェクター・一斉指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の政策 ・中心となった人物
	2 学習課題を知る 政府が国会を開くことになった原因と政治に与えた影響を考えよう		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の提示
展 開	3 課題を追究する <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ワークシートに資料からとらえたこと、見いだしたこと、類推したことを記入しながら進める ・土族の反乱について調べる ・農民一揆について調べる ・自由民権運動について調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の操作方法について確認する ・ワークシートへの記入の仕方について確認する ・政府を動かすきっかけになった事象について調べさせる つかむ段階 <ul style="list-style-type: none"> ・明治政府に対して、土族、農民などが不満をもち、反乱や一揆が相次いで起こった事実をとらえさせる つなげる段階 <ul style="list-style-type: none"> ・土族の反乱や農民による一揆の起こりを既習の学習との関連を見いださせる ・自由民権運動がどのように起こり、広まっていったかを板垣退助の考え方との関連を見いださせる ・ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる ・どのような経緯で、自由民権運動が広まっていったのか学び合わせる ・児童がとらえられなかった部分について補足説明を加える 	<p>コンピュータ教材・個別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西南戦争、各地に広まる土族の反乱 【補充資料 p 18】 ・各地に起こる農民一揆 ・各地に広がる自由民権運動【補充資料 p 18】 ・自由民権運動説明、板垣退助の考え方、政府による自由民権運動のとりしまり ・発展的に調べたい児童に対して、他の web ページを教材に準備する
	4 調べたことをもとに学び合う		

<p>展</p> <p>開</p> <p>75</p>	<p>5 課題を追究する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向け、コンピュータ教材を使って資料を調べる ・ワークシートに資料からとらえたこと、考えたことを記入しながら進める <p>・大日本帝国憲法の制定について調べる</p> <p>・国会を開く準備としての政党の設置について調べる</p> <p>・大日本帝国憲法の特徴を調べる</p> <p>・国会を開く準備としての総選挙について調べる</p> <p>・開かれた国会の様子について調べる</p> <p>6 調べたことをもとに学び合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習により、国会を開く前に行われたこと、大日本帝国憲法の特徴、国会開設に向けた準備、帝国議会の様子について調べさせる <p>つかむ段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を開く前に大日本帝国憲法が伊藤博文らによって制定されたこと、自由民権運動を支えた人物によって政党がつくられていったことをとらえさせる <p>つなげる段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国の特徴を、自由民権運動を行ってきた人々が創った私議憲法（五日市憲法）と比較させ明らかにさせる ・総選挙で選挙権が与えられた人が限定されていたことを今の時代の選挙権と比較させる <p>さぐる段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会には、どのような人々が参加しているかをとらえ、これまでの学習から政治の仕方にもどのような変化があったのか類推させる ・ワークシートをもとに資料からとらえたことを発表させる ・自由民権運動の起こりと国会開設を関連づけてとらえさせる ・国会が開かれたことにより、政治の仕組みがどのように変わっていったのかを学び合わせる ・児童がとらえられなかった部分について補足説明を加える 	<p>コンピュータ教材・個別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の制定、政党の設置 <p>・大日本帝国憲法内容、五日市憲法内容 【補充資料 p 18】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動をした人々の考え ・第1回総選挙、参政権、今の時代の参政権 【補充資料 p 18】 <p>・第1回帝国議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝国議会の様子 【補充資料 p 18】 ・発展的に調べたい児童に対して、他の web ページを教材に準備する
<p>終</p> <p>末</p> <p>7</p>	<p>7 学習課題を解決する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対する考えを書く <p>8 感想を記入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調べたことや学び合いで得たことから学習課題の解決を図らせる 	<p>プロジェクター・一斉指導</p> <p>学習内容のポイントを表示する</p>